

総合的な学習の時間

1 総合的な学習の時間の指導計画

(1) 河合中学校総合的な学習の時間「河中タイム」全体計画

① 本校のテーマ

河中タイム：地域の自然～人・もの・こと～
河中のテーマ：自分の生き方を気づき、考え、行動できる河中っ子

② 本校の総合的な学習の時間

a) 身につけさせたい力

- ・自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、よりよく問題を解決する資質や能力を育てる。
- ・学び方やものの考え方を身につけ、問題の解決や探究活動に主体的、創造的に取り組む態度を育て、自己の生き方を考える力を身につける。

b) ねらい—本年度の重点目標

- ・学校を取り巻く豊かな自然に学び、豊かな心を育てる。
- ・自ら課題を見つけ、体験活動を通して課題を解決していくなかで、たくましい実践力を培う。
- ・グループの活動のなかで、思いやりの心、協力し合う態度を養うとともに、自己の生き方を考えることができるようにする。

c) 内容の概要

- ・「地域の自然～人・もの・こと」をテーマに、河合地区を中心として、自然や地域、人、もの、こととかかわりながら、テーマ別課題解決学習に取り組ませる。
- ・各学年に応じた追究テーマについて、計画、実行、まとめ(評価)をしていく活動を個別に支援する。

d) 時間 <「河中タイム」総合的な学習の時間の計画時間>

| 学年学級 | 1年 | 2年 | 3年 |
|-------|----|----|----|
| 計画時間数 | 50 | 70 | 70 |

◎ 1年生 火曜日の6時間目

2、3年生 火曜日の5・6時間目に設定。

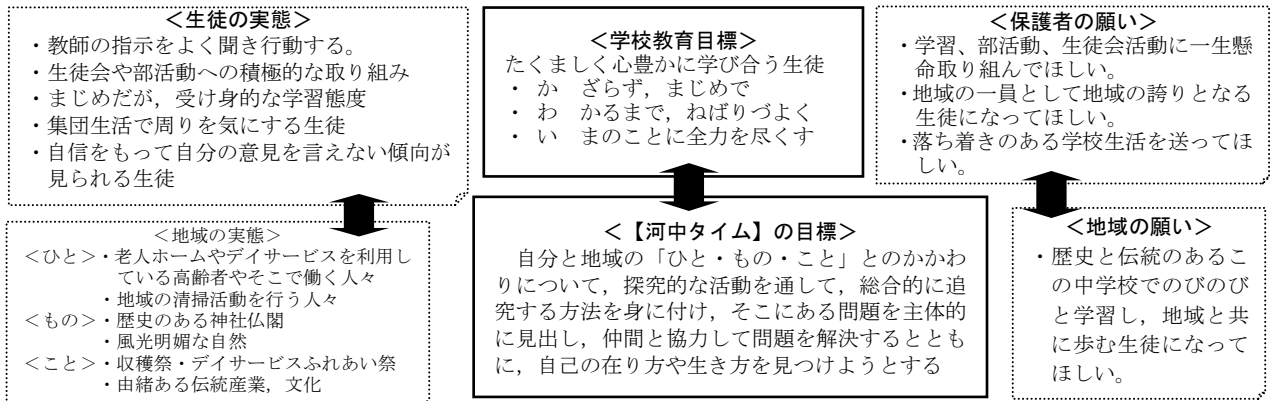
③ 評価規準項目

- a) 課題設定の能力 <発見する力> <把握する力>
- b) 構想・計画の能力 <かかわる力> <調べる力> <構想する力>
- c) 課題追究・表現実践の能力 <探究する力> <実践する力> <表現する力>
- d) 発展活用能力 <学習をとおして身につけたことを活かす力>

④ 家庭・地域との連携

- 地域の「人」から学ぶ
 - ・ 芸術家や各種事業主等をゲストティチャーとして活用
 - ・ 保育園や老人介護施設でのボランティア実践
- 地域の「もの」から学ぶ
 - ・ 「ゲンジホテル」の保護育成
 - ・ 「河川」の水質浄化活動
- 地域の「こと」から学ぶ
 - ・ 郷土の歴史的な事象の教材化

河合中学校 総合的な学習の時間【河中タイム】 全体計画



<育てようとする資質・能力及び態度>

| | |
|-------|---|
| 学習方法 | ・複雑な問題状況の中から適切に課題を設定する ・課題解決を目指して事象を比較したり、因果関係を推測したりして考える ・学習の仕方や進め方を振り返り、学習や生活に生かそうとする |
| 自分自身 | ・自らの行為について責任をもって意思決定する ・自らの生活の在り方を見直し、日常的に実践する ・自己の将来を考え、夢や希望を持つ ・自己の目標を明確にし、課題の解決に向けて計画的に行動する |
| 他者や社会 | ・異なる意見や他者の考えを受け入れ尊重する ・互いの特徴を生かし、協同して課題を解決する ・課題の解決に向けて社会活動に参画する |

<学習活動>

| | |
|----|------------------------------|
| 1年 | ・「ホテル保存活動」 ・「暖流」 |
| 2年 | ・「ホテル保存活動」 ・「未来の自分に近づこう!」 |
| 3年 | ・「ホテル保存活動」 ・「ライフプランを考えよう」 |

| | | |
|--------|--|---|
| 各教科の関連 | 国語 | ・実生活で生きてはたらし、各教科等の学習の基本ともなる国語の能力 ・我が国の言語文化を享受し継承・発展させる態度 |
| | 社会 | ・世界や日本に関する基礎的教養 ・国際社会に主体的に生き、公共的な事柄に自ら参画していく資質や能力 |
| | 数学 | ・根拠を明らかにし筋道を立てて体系的に考える ・言葉や数、式、図、表、グラフなどの相互の関連を理解し、それらを適切に用いて問題を解決したり、自分の考えを分かりやすく説明したり、互いに自分の考えを表現し伝え合ったりする |
| | 理科 | ・科学的に調べる能力と態度 ・観察、実験の結果を考察して自らの考えを導き出し表現する能力 ・自然と人間のかかわり方について総合的に見たり考えたりする能力 |
| | 音楽 | ・生活を明るく豊かなものにする態度 ・創造的に表現する能力 |
| | 美術 | ・心豊かな生活を創造していく意欲と態度 ・豊かに発想し構想する能力 ・自分の表現方法で創意工夫し、創造的に表現する能力 |
| | 保健 | ・明るく健全で豊かな生活を営むことができる ・公正で、進んで規則を守り、互いに協力して責任を果たそうとする態度 ・健康、安全に留意して行動することができる |
| | 技家 | ・ものづくりやコンピュータ活用等に関する基礎的な知識と技術を習得し、それらを適切に活用する能力と態度 ・課題を持って、生活をよりよくしようとする能力と態度 |
| | 外国語 | ・積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度 ・聞くことや話すことなどの実践的コミュニケーション能力 |
| | 道徳 | ・自己の向上、個性の伸張、生き方の追究 ・自己の役割と責任、集団生活の向上 ・奉仕の精神、公共の福祉と社会の発展 ・地域社会の一員としての自覚、郷土愛 ・世界平和と人類の幸福 |
| 特別活動 | ・集団や社会の一員として、よりよい生活を築こうとする自主的実践的な態度 ・人間としての生き方についての自覚を深め、自己を生かす能力 | |

<内 容>

| | 学習対象 | 学習事項 |
|---------|---|---|
| 横断的・総合的 | 環境 | 地域の自然環境とそこに起きている環境問題と解決に取り組む人々 校区的自然環境を調べ、他地域と比較したりして、そのかけがえのなさやこれからの課題を知り、その解決策や自然環境と自分とのかかわりを具体的に考える |
| | 福祉 | 地域の高齢者や障害者と生活を支える人々 地域の高齢者や障害者の生活や意識、支える人々や施設とかわるることにより、社会の中の課題を見つけ、高齢者や障害者の安心ある暮らしについて考えを提案する |
| | 情報 | 身の回りの様々な事象や社会における諸問題 身の回りの事象や社会問題に対するアンケートやインターネットなどからのデータ収集を行い、効果的にグラフ化することにより問題点を見出す。 |
| | 安全 | 地域の人々と地域で起こりうる大地震発生時の諸問題 大地震発生時における命の守り方を学び、学んだことを地域の人々にも伝えていくことを通して、地域の一員としての自覚を高める。 |
| | 国際理解 | 地球市民として考えを分かち合える共通の話題と人々 地球市民として、共通の話題で意見交換するために、ものごとを多角的にとらえ英語で考えていくことを通して、発信力を高める。 |
| 自然環境 | 地域の自然環境と人が共存する方法を追究するために取り組む人々 地域の自然環境を調べる中で人とのかかわりを知る。炭を通して、自然環境の現在の問題点を知り、その問題追究で自己とのかかわりを考える。 | |
| 興味・関心 | ものづくりの面白さや工夫と生活の発展 自分と身近な生活や社会の中の「もの」が果たしている役割を考え、より楽しく豊かな社会を築き支える仕組みを考える | |
| 学校・地域 | 地域の伝統や文化、継承や発展に取り組む人々 地域の伝統や文化の持つ特徴を知り、地域の一員として守り、受け継ぐための自己の役割をさぐるようとする | |
| 職業・将来 | 地域で働く人々の仕事に対する姿勢や願い 職業や自己の将来に関して、職場体験など探究活動に主体的に取り組み、自己を理解し自己の将来の生き方を考える | |

<指導体制>

- 【校内組織の整備】**
- ・少人数生徒に対する指導体制の整備
 - ・生徒の学習を支える運営体制の整備
 - ・教師の力量形成に向けた研修等の充実

- 【弾力的な授業時数の運用】**
- ・目的に応じた単位時間等の弾力化
 - ・1年間を見通した授業時数の運用

- 【学習環境の整備】**
- ・学校周辺の豊かな自然学習空間の確保
 - ・学校図書館の確保
 - ・情報環境の整備

<学習の評価>

- 【学習状況の評価】【指導計画の評価】【学習指導の評価】の方針や手立て**
- ポートフォリオを活用した評価の充実
 - 観点別学習状況を把握するための評価規準の設定
 - 個人内評価の重視
 - 指導と評価の一体化の重視
 - 学期末、学年末における指導計画の評価の実施
 - 授業分析による学習指導の評価の重視
 - 学校運営協議会における評価の実施

<指導方法>

- 探究的な学習を設定し、過程に応じた適切な指導を行う
- 他者と協同して課題を解決させる
- 各教科との関連を図る
- 言語活動を充実させる